3.1 都市生活における「ノマド可能工場」の役割

「主体パラドックス」の解生の解明に際しての重要な点の1つは、下位主体に「自律的ではない」主体を含めることであった。この点は、ノマドワークスタイルを実現するためにも重要な点であった。これまで、この点に着目した研究はほとんどなかったが、ここでは、この点について、主体的な自律性の観点から考察を行う。

ここで、下位主体の多くを占めるのは、製造業現場の労働者であるといってよいだろう。この点について、ノマドワークスタイルを実現するためには、労働者の主体的な自律性が必要であるとの考えに立つ場合、労働者の自律性の欠如は、ノマドワークスタイルの実現にとって大きな障害となる。換言すれば、労働者が主体的に自律性を発揮できるような環境を整えることが、ノマドワークスタイルを実現するためには必要不可欠であるといえる。